

# 中間評価シート

## 中間評価（表紙）

### 津島市 歴史的風致維持向上計画(令和2年3月24日認定) 中間評価(令和2年度～令和6年度)

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| ■ 統括シート(様式1).....             | 2  |
| ■ 方針別シート(様式2)                 |    |
| I 歴史的建造物の保存・活用 .....          | 3  |
| II 歴史的建造物の周辺環境の保全.....        | 4  |
| III 伝統文化を反映した活動の支援・継承.....    | 5  |
| ■ 波及効果別シート(様式3)               |    |
| i 観光客入込客数の動向.....             | 6  |
| ■ 代表的な事業の質シート(様式4)            |    |
| A 道路改良・道路美装化事業.....           | 7  |
| B 歴史文化遺産案内板整備事業.....          | 8  |
| ■ 歴史的風致別シート(様式5)              |    |
| 1 尾張津島天王祭にみる歴史的風致.....        | 9  |
| 2 津島駅西地区の山車祭、石探祭にみる歴史的風致..... | 10 |
| 3 茶の湯文化にみる歴史的風致.....          | 11 |
| 4 水の恵みにみる歴史的風致.....           | 12 |
| ■ 庁内体制シート(様式6).....           | 13 |
| ■ 住民評価・協議会意見シート(様式7).....     | 14 |
| ■ 全体の課題・対応シート(様式8).....       | 15 |

| 市町村名                      | 津島市                    | 評価対象年度         | R2～R6年 |
|---------------------------|------------------------|----------------|--------|
| <b>① 歴史的風致</b>            |                        |                |        |
|                           | 歴史的風致                  | 対応する方針         |        |
| 1                         | 尾張津島天王祭にみる歴史的風致        | I, II, III     |        |
| 2                         | 津島駅西地区の山車祭、石採祭にみる歴史的風致 | I, II, III     |        |
| 3                         | 茶の湯文化にみる歴史的風致          | I, II, III     |        |
| 4                         | 水の恵みにみる歴史的風致           | I, II, III     |        |
| <b>② 歴史的風致の維持向上に関する方針</b> |                        |                |        |
|                           | 方針                     |                |        |
| I                         | 歴史的建造物の保存・活用           |                |        |
| II                        | 歴史的建造物の周辺環境の保全         |                |        |
| III                       | 伝統文化を反映した活動の支援・継承      |                |        |
| <b>③ 歴史まちづくりの波及効果</b>     |                        |                |        |
|                           | 効果                     |                |        |
| i                         | 観光客入込客数の動向             |                |        |
| <b>④ 代表的な事業</b>           |                        |                |        |
|                           | 取り組み                   | 事業の種別          |        |
| A                         | 道路改良・道路美装化事業           | 歴史的建造物の周辺環境の保全 |        |
| B                         | 歴史文化遺産案内板整備事業          | 歴史的建造物の周辺環境の保全 |        |

|      |                |        |        |
|------|----------------|--------|--------|
| 市町村名 | 津島市            | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 方針   | I 歴史的建造物の保存・活用 | 今後の対応  | 継続展開   |

① 課題と方針の概要

歴史的建造物には管理者への負担から、適切な維持管理が行われず劣化が進んでいるものも存在している。また、多くの人々が、歴史的建造物に触れ、その歴史や文化の価値を感じる機会を十分に得られていないという課題がある。

これに対し、指定等文化財の建造物は、適切に保存・活用・修理等が行われるよう指導・助言等を行う。指定等文化財以外の建造物は、本計画に基づく歴史的風致形成建造物や文化財の指定又は登録を検討し、保存・活用を図り、活用を推進することで、市民に対して広く価値を広めていく。なお、損傷が進行している建造物は、修理等への支援等を講じることで負担を軽減するとともに協働により、維持管理や活用を検討する。市が所有・管理する建造物については、調査や整備を進めるとともに、活用しやすい環境を構築することを目指す。

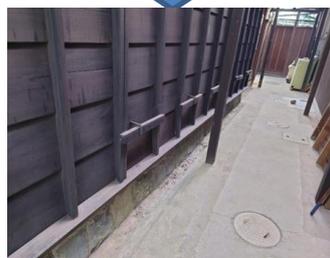
② 事業・取り組みの進捗

|   | 項目            | 推移                                | 計画への位置付け | 年度     |
|---|---------------|-----------------------------------|----------|--------|
| 1 | 歴史的建造物保存・活用事業 | 旧堀田家住宅・氷室作太夫家住居・津島市観光交流センターの一部を修繕 | あり       | R2～R11 |

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

- ・国重要文化財である旧堀田家住宅について、令和2年度より必要な維持管理を実施しつつ、令和3年度に白蟻防除、令和4年度に漆喰剥落箇所等の修繕、令和5年度に避雷針及び消防設備の修繕、令和6年度に漆喰剥落箇所の修繕を実施した。また、旧堀田家住宅では令和2年度から令和6年度まで、地域の文化に関する「ひなまつり展」など計14回の企画展を実施した。
- ・市指定文化財である氷室作太夫家住居について、令和2年度より維持管理を実施しつつ、令和3年度に現況調査、令和5年度に雨漏り防止のシートによる修繕、令和6年度に内部補強修繕を実施した。
- ・登録有形文化財である津島市観光交流センターについて、令和2年度より必要な維持管理を実施しつつ、令和5年度に外トイレ内壁修繕を実施した。令和2年度に尾張津島天王祭パネル展、令和4年度より尾張津島天王祭や尾張津島秋まつりのお囃子稽古や特別展、茶室を活用した抹茶体験を予約制で実施した。
- ・上記保存と活用により、良好な町並みを維持するだけでなく、市内外に建物の価値と魅力を発信した。

旧堀田家住宅の修繕  
（令和4年度実施事業）



旧堀田家住宅「ひなまつり展」  
（令和2～6年度事業）



④ 自己評価

新型コロナウイルス感染症による人流の抑制のある中、歴史的建造物の維持管理を実施しつつ、旧堀田家住宅及び津島市観光交流センターでは、地域の歴史的風致を形成する祭事や生業の会場として活用することができた。そのことにより、文化財同士のコラボレーションによる活用と周知を図り、市内外に文化財の価値を示すことができた。

⑤ 今後の対応

引き続き、継続的な保存管理や修繕が必要である。また、個別文化財の保存活用計画の策定にあたり、市民のニーズ等も調査しながら進めていくことが求められている。活用についても、その他の文化財への展開も併せて検討していく。

|      |                  |        |        |
|------|------------------|--------|--------|
| 市町村名 | 津島市              | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 方針   | Ⅱ 歴史的建造物の周辺環境の保全 | 今後の対応  | 継続展開   |

① 課題と方針の概要

歴史的建造物の周辺環境の課題やスポンジ化を見せている天王通線を取り巻く課題による魅力低下が起きており、散策するための仕掛けや案内が不足しているため、観光客の滞在時間が短くなっている。また、古くからの町並みが連なる重点区域周辺は、災害に弱いことから、歴史的風致の維持向上を図るうえで課題となっている。

これに対し、屋外広告物の規制に加え、景観計画の策定を行い、景観条例を制定していく。案内板の修繕等やガイドの育成をするなどガイダンス機能の強化、参加型・体験型の仕掛けを構築し、まちなかの回遊性を図り、都市のスポンジ化対策としては、建造物の利活用を促進するとともに、立地適正化計画の都市機能誘導制度を活用する。重点地区周辺は、防災上安全なまちづくりを進め、公園整備事業等の自然環境の保全も図りつつ、歴史的風致の維持向上を目指す。

② 事業・取り組みの進捗

|   | 項目            | 推移                                    | 計画への位置付け | 年度    |
|---|---------------|---------------------------------------|----------|-------|
| 1 | 道路改良・道路美装化事業  | 改良 A=1,632.14㎡を買収済み<br>美装化L=538.8mを整備 | あり       | R2～R6 |
| 2 | 天王川公園整備事業     | A=2,628.2㎡（進捗率70.0%）を整備               | あり       | R2～R8 |
| 3 | 歴史文化遺産案内板整備事業 | N=30箇所を整備                             | あり       | R2～R6 |

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

・道路改良事業では、津島神社や天王川公園へのアクセス路線となる市道橋詰見越線において、令和4～6年度に用地買収を行い、1,632.14㎡を買収し、買収済み区間の一部の工事を行い、アクセス向上を図っている。

・道路美装化事業では、来訪者の回遊性を向上させるため、道路や小路の美装化を実施した。総延長L=4,308.6mに対し、令和6年度までの整備済延長はL=3,000.6m（進捗率69.6%）。また、アスファルト舗装から景観に配慮した排水性舗装に整備した（L=224.9m）。これにより、まち歩きを楽しむことができ、魅力の向上に繋がった。

・天王川公園整備事業では、天王川公園内にある老朽化した藤棚の改修とともに、Park-PFIにより選定した指定管理者による藤棚や景観の維持管理等を行い、地域の魅力向上が図られた。総面積A=3,756.0㎡に対し、令和6年度までの改修済面積はA=2,628.2㎡（進捗率70.0%）。

・歴史文化遺産案内板整備事業では、老朽化等した案内板を、必要に応じた方法で整備を行い、令和5・6年度に計30箇所の整備を行い回遊性の向上を図った。うち、1箇所は既存設置箇所と入替の形で新設した。

歴史文化遺産案内板整備事業  
（令和5・6年度事業）



④ 自己評価

道路改良事業により具体的なアクセス向上に向けた展開が可能となった。また、道路美装化及び歴史文化遺産案内板整備事業により、都市景観に合わせた修景を達成することができた。

⑤ 今後の対応

藤棚改修事業については、当初令和6年度までの予定であったが、令和8年度まで延長することとなり、今後も改修を進める必要がある。また道路改良事業についても、津島神社や天王川公園へのアクセス向上や来訪者の回遊性の向上に繋げるために引き続き整備工事を実施していく。

|      |                     |        |        |
|------|---------------------|--------|--------|
| 市町村名 | 津島市                 | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 方針   | Ⅲ 伝統文化を反映した活動の支援・継承 | 今後の対応  | 継続展開   |

① 課題と方針の概要

祭礼や、生業と結びついた伝統行事・慣習等が市全域で継続されてきているが担い手の減少等が課題となっている。また、従来の取組だけでは、文化財に対する理解は十分に浸透していない。これに対し、市民等の活動を披露する場を提供していくほか、適切な支援を行う。あわせて子どもたちが地域の歴史や文化に触れることのできる機会やイベント等を開催し、市民活動団体等と協働・連携、支援を行うことにより、継承と将来の担い手の育成を図る。さらに、歴史的風致を構成する生業に関する取り組みを含め、適切なプロモーションを行っていく。

② 事業・取り組みの進捗

|   | 項目              | 推移  | 計画への位置付け | 年度     |
|---|-----------------|---|----------|--------|
| 1 | 尾張津島天王祭保存・振興事業  | R2～R6祭礼用具修繕、<br>R4～R6祭運営のための支援補助                            | あり       | R2～R11 |
| 2 | 尾張津島秋まつり保存・振興事業 | R2～R6祭礼用具修繕、R4～R6祭運営・<br>保存継承のための支援補助、<br>R5・R6尾張津島秋まつり調査実施 | あり       | R2～R11 |
| 3 | 歴史・文化学習事業       | R3～R6学習事業134人参加(応募者)<br>R2～R6ご当地検定224名参加(受験者)               | あり       | R2～R11 |
| 4 | 茶の湯文化振興事業       | R5茶華道展500人参加  | あり       | R2～R11 |
| 5 | 津島の歴史・文化魅力発信事業  | R2～R6特別切符販売約6,400枚<br>R2～R6寺社イベント参加者約7,800人                 | あり       | R2～R11 |
| 6 | 毛織物産業の普及促進事業    | 毛織物学習プログラム開催計6回   | あり       | R2～R11 |

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

- ・尾張津島天王祭保存・振興事業及び尾張津島秋まつり保存・振興事業は新型コロナウイルス感染症による祭事や関連する催し物の中止や制限の中、令和2～6年度にかけて祭礼用具の修繕を適宜行った。また、行動制限緩和後の令和4年度以降は祭事の開催支援を関係団体に対し行い、アフターコロナの祭事開催を支援した。加えて、尾張津島秋まつりは令和5・6年度に調査を行い将来的な利活用に向けての具体的な成果物を得た。
- ・歴史・文化学習事業は、主に市内の児童を対象に郷土の歴史や文化を学習するためのフィールドワークや祭の見学等を実施し令和3～6年度まで計134人の参加があった。民間団体では商工会議所が大人から子供まで参加できるご当地検定を開催し令和2～6年度まで計224名の参加を得た。これにより、継承と担い手育成が図られた。
- ・茶の湯文化振興事業は、令和2～4年度、令和6年度で茶華道展が中止となったものの、令和5年度では計500人の参加を得て、地域における文化の表現の場を示すことができた。
- ・津島の歴史・文化魅力発信事業では、イベント開催や出展を行い、名古屋鉄道との連携事業であるつしまちあるきキャンペーン事業では計約6,400枚、市内の寺社散策イベントである津島てら・まち御縁結び事業では計約7,800人の参加者があり、それにより市の魅力発信を達成した。

④ 自己評価

祭事や催し物を含むため、新型コロナウイルス感染症による行動制限の影響を強く受けた中で、アフターコロナに向けた支援を行い、また行動制限緩和後は中止することなくコロナ禍以前の取り組みを継続し、地域の伝統文化の支援・継承をすることができた。

⑤ 今後の対応

伝統文化の担い手不足は依然課題であり引き続き支援と実効性のある対応策を検討する。

|      |              |        |        |
|------|--------------|--------|--------|
| 市町村名 | 津島市          | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 効果   | i 観光客入込客数の動向 |        |        |

① 効果の概要

観光客入込客数は、新型コロナウイルス感染症を経て水準を維持しつつ復調傾向を示している。

② 関連する取り組み・計画

|   | 他の計画・制度                           | 連携の位置づけ | 年度     |
|---|-----------------------------------|---------|--------|
| 1 | 第5次津島市総合計画                        | あり      | R3～R12 |
| 2 | 津島市都市計画マスタープラン                    | あり      | R3～R12 |
| 3 | 社会資本整備総合計画<br>(歴史的風致の維持向上とまちの活性化) | なし      | R2～R6  |

③ 効果発現の経緯と成果

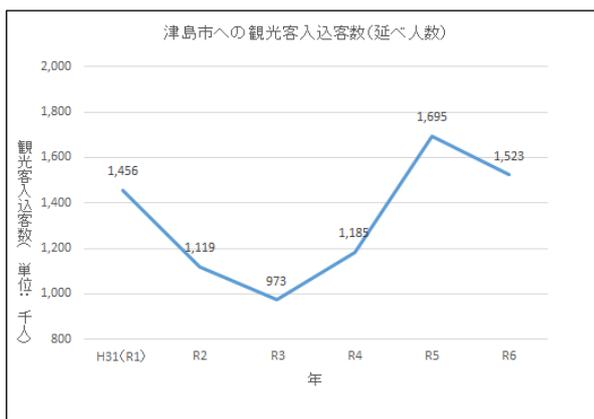
当市の歴史的風致維持向上計画認定は令和2年3月であり、策定後の事業は新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、観光客入込客数にも影響が出た。実際に令和2年度から催し物の多くが中止になったことにより、令和4年度までの観光客入込客数は認定前を下回った。しかし、令和5年度は行動制限緩和による催し物の再開の影響もあり近十年でトップクラスの観光客入込客数を記録した。これは、当市の観光客入込客数の指標となる津島神社の参拝者数や尾張津島天王祭、尾張津島秋まつりなどの歴史的風致を形成する建造物とその周辺環境及び祭事の維持によるものである。

行動制限中も、歴史的建造物保存・活用事業、道路改良・道路美装化事業、天王川公園整備事業、歴史文化遺産案内板整備事業等のハード事業は実施し、アフターコロナの観光需要への備えを行い、かつ地域資源の維持向上へと資するものとなった。

さらに、尾張津島天王祭、尾張津島秋まつりが中止となる中、尾張津島天王祭保存・振興事業、尾張津島秋まつり保存・振興事業による祭具の修繕等の支援を続け、行動制限の緩和が見られた令和4年度には縮小開催ながら両祭の開催を行い、適宜支援補助や報償費の支払いを行う等の支援を継続した。このこともあって、全国的に祭事や伝統行事の断絶やコロナ禍前からの縮小が見られた中でも令和5年度には祭事の通常開催に及び、地域の歴史的風致の維持を図ることができた。

④ 自己評価

ハード事業・ソフト事業両輪による歴史的風致の維持に資する事業に伴い、祭礼が歴史的風致に大きく関わる本市において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた後も、観光客入込客数は復調傾向を示した。



⑤ 今後の対応

引き続き、歴史的建造物及び周辺環境の保全・活用により、まちの回遊性を高めるほか、伝統文化を反映した活動の支援・継承について、金銭的な支援のみならず諸制度の活用により官民一体となって、地域の歴史的風致維持向上の成果指標の一部としての観光客入込客数の確保を目指す。なお、令和6年度より随時GPS情報を参考にした観光客入込客の把握を行っており、観光客入込客数の統計上の減少が予測される。

|      |                |        |             |
|------|----------------|--------|-------------|
| 市町村名 | 津島市            | 評価対象年度 | R2～R6年      |
| 取り組み | A 道路改良・道路美装化事業 | 種別     | 歴史的風致維持向上施設 |

① 取り組み概要

津島市には、重点区域を中心に江戸時代中期の地図や史料にもその存在を確認できる道路（小路）が多く残っている。沿線には文化財に指定・登録されている建造物の他、歴史的風致を形成する建造物や施設が存在しており、そうした道路を通じて祭礼・行事が行われるなど道路は地域の歴史的風致の重要な構成要素となっている。これらは多くが狭隘かつ、整備による歴史文化的価値が明確化されていなかった。また、津島神社や天王川公園へのアクセス向上について課題になっていた。



整備前の小路の景観

これら道路について、社会資本整備総合交付金を活用し平成27年度以降随時整備していたが、歴史的風致維持向上計画策定により、事業の継続及び拡大を行った。



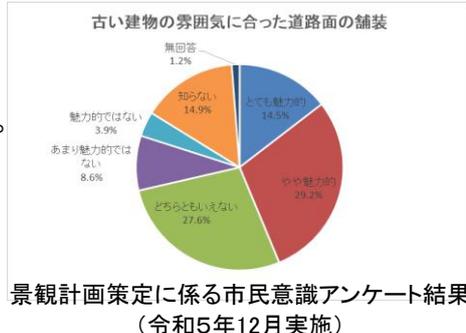
整備後の小路の景観

道路美装化・小路整備については、過年度実施事業分を含めて令和6年度までの整備済み延長はL=3,000.6m（進捗率69.6%）が完了した。

道路改良工事については、令和6年までの事業期間で市道橋詰又吉線において1,632.14㎡（84.2%）の用地買収が完了し、

現在道路改良工事を実施中である。また、令和6年度には整備した津島駅西部地域に点在する「小路名板」を模した「小路名板カード」を作成し、散策を通じた配布イベントを行うなど整備後の施設の活用を行った。

右記アンケート結果では、43.7%が古い建物の雰囲気に合った道路面の舗装について「とても魅力的」、「やや魅力的」と評価し、「魅力的ではない」、「あまり魅力的ではない」の合計12.5%を3倍以上上回った。道路（小路）を通じた歴史的風致の周辺環境の魅力の向上に繋がったと評価できる。



② 自己評価

当該事業を行ったことで景観の向上を図ることができ、歩行者の安全性の向上や来訪者の回遊性につながるものと評価できる。

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 外部有識者名  | 黒田 剛司(津島市文化財保護審議会会長) |
| 外部評価実施日 | 令和7年5月7日             |

③ 有識者コメント

市道橋詰又吉線の道路改良工事は、市北側から津島神社、天王川公園、中心市街地へのアクセスが良くなるとともに、住民にとっても利便性が向上すると考えられる。

道路美装化事業で、小路が景観に配慮した排水性舗装され、住環境が良くなったことを住民は実感しており、町への愛着心が増したという声を聞いたことがあった。また、歴史的風致を形成する古寺社の建造物、尾張津島天王祭・尾張津島秋まつりを観に訪れる観光客にとっても散策しやすく、風情ある道路は魅力的である。

歴史的風致の維持向上を図る上で道路改良・道路美装化事業は重要であるので、今後も着実な進捗管理と住民意識の把握に努めてもらいたい。

④ 今後の対応

道路改良工事について、用地買収を経て道路拡幅を実施し、重点区域へのアクセス向上とその活用に繋げていく。また、道路美装化・小路整備について整備した結果による周辺環境の向上を踏まえ、活用に繋げられる事業について検討していく。

|      |                 |        |             |
|------|-----------------|--------|-------------|
| 市町村名 | 津島市             | 評価対象年度 | R2～R6年      |
| 取り組み | B 歴史文化遺産案内板整備事業 | 種別     | 歴史的風致維持向上施設 |

① 取り組み概要

重点区域ほか市内に点在する、歴史文化遺産の案内板は、地域住民等に歴史文化遺産に対する認識向上や保存・継承に対する理解を深めてもらい、歴史的建造物と伝統文化活動の保存・継承を図るために設置されたものである。多くの歴史文化遺産案内板は老朽化しており、判読が困難になっているものもあることから、市内30箇所の歴史文化遺産案内板を整備した。

また、円柱型・立札型やアルミニウムやプラスチック等素材が混在していた案内板の形態を統一し、地域住民や観光客の認知向上に繋がった。案内板に掲載されているテキストについても従来のものからより伝わりやすい内容への見直しを行った。これらの取り組みにより、回遊性の向上や地域の歴史文化の伝承が図られた。

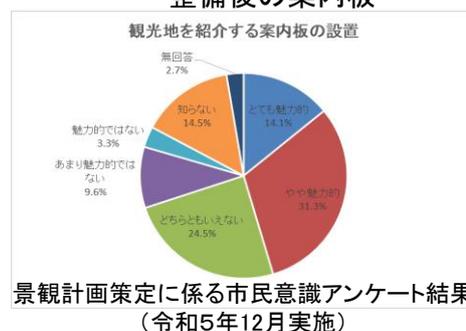
歴史文化遺産案内板整備事業について、右記アンケート結果では、45.4%が観光地を紹介する案内板の設置（当事業）について「とても魅力的」、「やや魅力的」と評価し、「魅力的ではない」、「あまり魅力的ではない」の合計12.9%を3倍以上上回った。このことにより、案内板を通じた歴史的風致の周辺環境の魅力の向上に繋がったと評価できる。



整備前の案内板



整備後の案内板



② 自己評価

老朽化等した歴史文化遺産案内板を改修したことで、すでに設置されている案内板デザインとの統一性を図り、良好な景観形成及びまちなか回遊性の向上につなげることができた。

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 外部有識者名  | 浅野 聡(國學院大學観光まちづくり学部教授) |
| 外部評価実施日 | 令和7年5月7日               |

③ 有識者コメント

従前の歴史文化遺産案内板は、老朽化のために解説文の判読が困難であったこと、構造体が汚れていたこと、デザインが統一されていなかったこと、等の理由により、景観面からも歴史的市街地に調和するとともに十分に活用されているとは言えない状況にあった。

本事業ではこれらの問題を改善するために、歴史的市街地の景観に調和するように落ち着いたデザイン(素材、色彩、形態等)として統一するとともに、重点区域内に15箇所、重点区域外に15箇所と多くの案内板をネットワークして配置し、解説文の内容の判読や理解を容易にできるように整備した結果、歴史的市街地の良好な景観形成に貢献するとともに、案内板として地域住民や観光客に認知されやすくなり、津島市の歴史文化の普及啓発、PRIにも貢献できたと思われる。

④ 今後の対応

整備した歴史文化遺産案内板については、災害や現状変更による修繕の必要性を随時注視し、適切に対処していく必要がある。

整備した案内板について、今後適宜活用を検討し、より一層の回遊性の向上や地域への歴史文化の伝承を行っていく。

|        |  |        |        |
|--------|--|--------|--------|
| 市町村名   | 津島市  | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 歴史的風致  | 1 尾張津島天王祭にみる歴史的風致  | 状況の変化  | 維持     |
| 対応する方針 | I 歴史的建造物の保存・活用<br>II 歴史的建造物の周辺環境の保全<br>III 伝統文化を反映した活動の支援・継承 |        |        |

① 歴史的風致の概要

「尾張津島天王祭」は、津島神社の祭礼である。「尾張津島天王祭の車楽舟行事」は、昭和55年に国の重要無形民俗文化財に指定、平成28年にはユネスコ無形文化遺産「山・鉦・屋台行事」の一つとして登録された。天王祭は現在、平成19年に日本の歴史公園100選に選出された天王川公園で行われている。天王祭は、津島神社への信仰と津島湊が生み出した津島の商人・町人によって支えられ、「旧津島五ヶ村」が主体となって、津島神社の神職、神事・祭事の関係者、祭具や神饌に関わる太鼓や醸造の職人、飲食業者や地元の商店など街を挙げた老若男女によって担われており、津島市の独自の歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

尾張津島天王祭は、評価対象年度中に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、車楽舟行事を含む令和2・3年の祭事の大部分が中止となった。その中で以下の取り組みを行った。

I 歴史的建造物の保存・活用

旧堀田家住宅では天王祭に関する展示、津島市観光交流センターでは指定管理者による天王祭に関する展示やお囃子練習の会場としての活用が行われた。

II 歴史的建造物の周辺環境の保全

尾張津島天王祭のアクセス向上に繋がる道路改良は進展しており、今後の展開に備えた。また、天王祭を担う「旧津島五ヶ村」を含む地域の江戸時代以前から残る道路の美装化等も逐次行われ、同様に実施されている歴史文化遺産案内板整備事業による祭事にも関連する市内スポットの歴史文化資源の可視化により、観光客の回遊性の向上や地域に住む次世代への歴史・文化の継承のための環境整備が行われた。加えて、祭事的主要な会場である天王川公園整備事業により、藤棚改修やPark-PFIを実施し会場の魅力向上による周辺環境の保全・向上を実現している。

III 伝統文化を反映した活動の支援・継承

尾張津島天王祭の祭礼用具等の修繕に対する支援を適宜行い、祭事の開催に伴う支援を担い手となる団体へ適宜行った。令和3年度より子どもたちを対象とした尾張津島天王祭の学習事業も再開し、その他魅力発信事業等を通じて歴史的風致の維持が図られた。

天王祭の祭礼用具の修繕復元復調した米車屋台幕（令和2年度実施事業）



歴史・文化学習事業（令和3年度実施事業）



津島市観光交流センターで実施した天王祭お囃子練習（令和5年度実施事業）



③ 自己評価

尾張津島天王祭の通常開催に向けて、祭りの展示や祭礼用具の修繕支援等を着実に進め、地域文化における未曾有の危機への対応に資することができ、歴史的風致の維持につなげることができた。

④ 今後の対応

取組によって歴史的風致の維持は達成できているが、新型コロナウイルス感染症や天候不順などによる中断・縮小があったことから、担い手の確保の課題や市内外の観光客への訴求力の低下のおそれがあり、継続して担い手育成の支援や周辺環境の保全・向上による祭会場以外へのにぎわいの波及による地域の活性化等が求められる。

|        |  |        |        |
|--------|--|--------|--------|
| 市町村名   | 津島市  | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 歴史的風致  | 2 津島駅西地区の山車祭、石採祭にみる歴史的風致                                     | 状況の変化  | 維持     |
| 対応する方針 | I 歴史的建造物の保存・活用<br>II 歴史的建造物の周辺環境の保全<br>III 伝統文化を反映した活動の支援・継承 |        |        |

① 歴史的風致の概要

津島駅西側の地区（以下、駅西地区）は、古くから湊町、門前町として賑わってきた地域である。ここで行われている「七切祭」「向島祭」「今市場祭」「石採祭」は、現在は市内他地域の祭事と同時に「尾張津島秋まつり」として行われているが、駅西地区の祭は市内他地域の秋まつりや同じ駅西地区を中心として行われる天王祭の担い手とは異なる人々によって行われるまつりとして、古くからの町並みや氏神社への信仰が一体となった独特の歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

尾張津島秋まつりは、評価対象年度中に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年・3年のまつりが中止となった。その中で以下の取り組みを行った。

I 歴史的建造物の保存・活用

津島市観光交流センターでは指定管理者による秋まつりに関する展示やお囃子練習の会場としての活用が実施された。

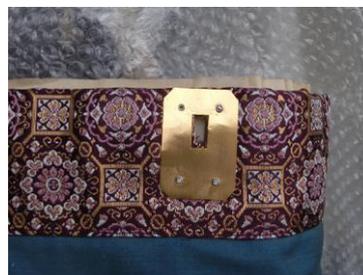
II 歴史的建造物の周辺環境の保全

尾張津島秋まつりのアクセス向上に繋がる道路改良は進展しており、今後の展開に備えた。また、秋まつりを担う駅西地区の江戸時代以前から残る道路の美装化等も逐次行われ、同様に実施されている歴史文化遺産案内板整備事業による祭事にも関連する市内スポットの歴史文化資源の可視化により、整備済みの各地域の山車蔵を含め観光客の回遊性の向上や地域に住む次世代への歴史・文化の継承のための環境整備が行われた。これら取組による周辺環境の保全・向上を実現している。

III 伝統文化を反映した活動の支援・継承

文化財保存補助を適宜行い、祭礼用具の修繕の支援を行った。また、祭事の開催に伴う支援を担い手となる団体へ適宜行った。令和5・6年度には尾張津島秋まつり調査を実施し、今後の保存・振興事業の資料を作成した。その他魅力発信事業等を通じて歴史的風致の維持を図った。

秋まつりの祭礼用具の修繕  
（令和3年度実施事業）



津島市観光交流センターで実施した秋まつりお囃子練習  
（令和4年度実施事業）



神守上町・兄弟人形の修理  
（令和5年度実施事業）

③ 自己評価

尾張津島秋まつりの通常開催に向けて、祭りの展示や祭礼用具の修繕支援等を着実に進め、地域文化における未曾有の危機への対応に資することができ、歴史的風致の維持につなげることができた。また、祭りを後世への継承していくために、尾張津島秋まつり調査を実施したことで、祭りの一連の流れや実態の把握に努めることができた。



④ 今後の対応

取組によって歴史的風致の維持は達成できているが、尾張津島天王祭よりも小規模な組織で行われることから、少子高齢化や地域経済の変化の影響を強く受けており、継続して担い手育成の支援や周辺環境の保全・向上による祭会場以外へのにぎわいの波及による地域の活性化が求められる。まつりの在り方について持続可能な形の模索が求められており、各種事業もそれに準じた適切かつ効果的な展開を行っていきたい。

|        |  |        |        |
|--------|--|--------|--------|
| 市町村名   | 津島市  | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 歴史的風致  | 3 茶の湯文化にみる歴史的風致  | 状況の変化  | 維持     |
| 対応する方針 | I 歴史的建造物の保存・活用<br>II 歴史的建造物の周辺環境の保全<br>III 伝統文化を反映した活動の支援・継承 |        |        |

① 歴史的風致の概要

津島市において茶の湯とは、気軽に楽しむものでもあり、本町筋沿いの町家は茶室を備える家も多いことから「お茶室ロード」と呼ぶ学者もいる。いわゆる茶道としての茶の湯だけでなく、日常生活にも茶を楽しむ風習は取り入れられており、これらに伴う風習や店舗は今なお残っている。現代になり店舗や風習は少なくなってきたものの、津島に根付いた茶の湯文化は津島神社の神事や催事、市民活動団体等が主体となった催しで感じることができる。このように、津島の茶の湯文化は、日常生活にも溶け込み、歴史的建造物やその周辺で、老若男女問わず市民の活動に広がりながら、良好な歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

茶の湯文化関連事業は、評価対象年度中に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となった事業もあった。その中で以下の取り組みを行った。

I 歴史的建造物の保存・活用

旧堀田家住宅では茶室を含めた施設の維持・管理、津島市観光交流センターでは指定管理者による抹茶体験が実施され歴史的風致の維持及びそのための活用がされた。

II 歴史的建造物の周辺環境の保全

お茶室を有する町家の並ぶお茶室ロード周辺の江戸期以前から残る道路の美装化等も逐次行われ、地域の歴史的価値の可視化による環境整備が行われた。こうした取組による周辺環境の保全・向上を実現している。

III 伝統文化を反映した活動の支援・継承

歴史・文化学習事業として、地域検定「津島の達人」を通じた津島の茶の湯文化の学習や、コロナ禍中の令和3年度にも民間団体である津島ガイドボランティアが天王川公園で約80人の参加があった「野点大茶会」を開催するなど官民連携のまち歩きイベントを実施した。また茶の湯文化関連の店舗を含む観光キャンペーンであるつしまちあるきキャンペーン事業を通じて、歴史・文化魅力発信事業を行い、市内の店舗の振興を通じて地域文化の維持を図った。また、令和5年度には市主催の「茶華道展」が再開するなど、歴史的風致の維持を達成した。

つしまちあるきキャンペーン事業  
(令和2～6年度実施事業)



津島ガイドボランティア  
「野点大茶会」  
(令和3年度実施事業)



津島市文化祭茶華道展  
(令和5年度実施事業)

③ 自己評価

飲食を伴う歴史的風致であり、コロナ禍の影響を強く受けた。官民それぞれの努力・取組により歴史的風致の維持はできているものの、地域経済への打撃や担い手の高齢化と減少等のソフト面の影響、お茶室ロード周辺の古民家の解体や従来存在した店舗の閉店・休業などハード面の変化も起きている。



④ 今後の対応

当市の歴史的風致において、生業の要素が最も大きいことから、持続可能な歴史的風致の維持を目指す必要があると考える。コロナ禍を経ても私的な茶の湯文化は健在であり、市民活動団体を中心に当風致を意識した取り組みも見られるようになっており、様々な事業展開による維持向上を図りたい。

|        |  |        |        |
|--------|--|--------|--------|
| 市町村名   | 津島市  | 評価対象年度 | R2～R6年 |
| 歴史的風致  | 4 水の恵みにみる歴史的風致   | 状況の変化  | 維持     |
| 対応する方針 | I 歴史的建造物の保存・活用<br>II 歴史的建造物の周辺環境の保全<br>III 伝統文化を反映した活動の支援・継承 |        |        |

① 歴史的風致の概要

濃尾平野に位置する津島市は、市のほぼ全域が海拔ゼロメートル以下の低平地であり、水害と戦いながら生活した歴史がある一方、肥沃な土壌と水資源を活かした稲作地帯であり、関連する祭事や風習も発展してきた。神守地区神尾町七所神社の管割神事や、現在「尾張津島秋まつり」として行われている旧宿場町である神守町の神守祭、また各所に石採祭車や神楽（屋形）等が存在する。この水の恵みは、農業だけでなく近代には尾州の毛織物産業を支えた。また、神島田地区では金魚養殖のための池が広がっている地域があるなど、神守地区及び神島田地区は水と戦い、水を利用してきた地域であり、人々の祈りと産業が独特の歴史的風致を形成している。

② 維持向上の経緯と成果

神守・神島田地区の尾張津島秋まつり関連行事は、評価対象年度中に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年・3年のまつりが中止となった。その中で以下の取り組みを行った。

I 歴史的建造物の保存・活用

津島市観光交流センターでは指定管理者による秋まつりに関する展示が実施された。

II 歴史的建造物の周辺環境の保全

歴史文化遺産案内板整備事業による市内スポットの歴史文化資源の可視化により、観光客の回遊性の向上や地域に住む次世代への歴史・文化の継承のための環境整備を行った。これら取組による周辺環境の保全・向上を実現している。

III 伝統文化を反映した活動の支援・継承

尾張津島秋まつり保存・振興事業により、祭りの開催に伴う支援を担い手となる団体へ適宜行った。令和5・6年度には尾張津島秋まつり調査を実施し、今後の保存・振興事業の資料を作成した。本歴史的風致に含まれる秋まつり関連行事は駅西地区の秋まつりの歴史的風致と比較して、周知の余地があることから、津島の歴史・文化魅力発信事業による津島てら・まち御縁結びや観光カードの作成による周知を実施した。また、民間団体が中心となって毛織物産業の普及促進事業としてイベントの開催や出展、令和4年度からは放課後子ども教室において毛織物学習プログラムが実施され、歴史的風致の維持に寄与した。

放課後子ども教室  
毛織物学習プログラム  
（令和4～6年度実施事業）



歴史文化遺産案内板整備事業  
（令和5・6年度実施事業）



③ 自己評価

尾張津島秋まつりの通常開催に向けて、祭りの展示や祭礼用具の修繕支援等を着実に進め、地域文化における未曾有の危機への対応に資することができた。また、祭りを後世へ継承していくために、尾張津島秋まつり調査を実施したことで、祭りの一連の流れや実態の把握に努めることができた。

毛織物産業の普及促進事業については、民間団体が中心となって歴史的風致の維持を図ることができた。

④ 今後の対応

本歴史的風致に含まれる尾張津島秋まつりに関するまつりや風習の維持は達成できているが、多様な文化財や行事、生業を有する本歴史的風致はその他の歴史的風致と比較して、歴史的建造物の保存・活用や歴史的建造物の周辺環境の保全事業の余地のある歴史的風致であるため、現在の事業を継続しつつ住民の意見を踏まえた展開を検討していきたい。

|             |     |               |        |
|-------------|-----|---------------|--------|
| <b>市町村名</b> | 津島市 | <b>評価対象年度</b> | R2～R6年 |
|-------------|-----|---------------|--------|

**① 庁内組織の体制・変化**

計画の推進にあたっては、市長公室シティプロモーション課、建設産業部都市計画課、教育委員会社会教育課の3課を事務局とし、各事業担当者と横断的に連携しながら庁内の実施体制を整えた。

各年1回関係課を交えた「津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議」を開催し、積極的な意見交換や情報交換を行った。会議を通じ、国交省系の国庫補助金の詳細を文化財担当部局が担当者から直接情報共有を受けたり、関係団体の取組事項を共有するなど歴史的風致の維持向上に資する場となった。

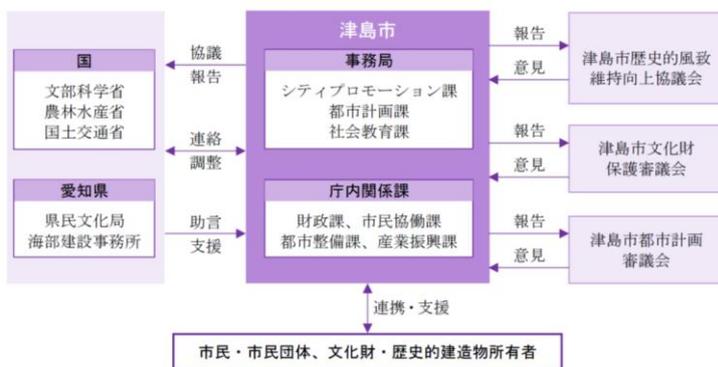
●津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議（R5）



●津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議（R6）



●計画の実施体制



**② 庁内の意見・評価**

中間評価の作成にあたり、庁内組織の体制・変化について、令和7年2月19日開催の「津島市歴史的風致維持向上計画担当者会議」で各課から下記の意見があった。

- ・こうして集まって他課の意見を聞けるのは良い。情報共有の場としては有用である。
- ・道路に関する業務などで、他部署の歴史的風致維持や景観的な考え方を取り入れられ、意識付けになった。
- ・昨年の担当者会議でも、文化財担当課に当課で取りまとめている国庫補助事業で対応できるというような話を聞ける場になるなど、事業が進めやすくなった。
- ・景観業務を行うにあたり、歴史的風致に対する市の方向性が定まっているので、担当者として参考になった。他の市町に聞いたことがあるがまちづくり系部署と文化財系部署とは歴まち計画を通して連携しているとあり、今後より一層連携体制が固まってくるのではないだろうか。
- ・担当している業務に国庫補助事業や古民家の利活用があり、歴まちサミットに参加することにより現地で他自治体の事例を視察できたのがよかった。また国庫補助事業について他部署に対し、本体制を通じて連携しやすくなった。
- ・情報共有の場としては有用で国庫補助事業等の話を聞いたのは良かった。

|      |     |        |        |
|------|-----|--------|--------|
| 市町村名 | 津島市 | 評価対象年度 | R2～R6年 |
|------|-----|--------|--------|

① 住民意見

景観計画策定に係る市民意識アンケートより抜粋(令和5年12月実施)  
 15歳以上の津島市在住者1,500人(無作為抽出)に郵送で配布、回収は郵送・WEB  
 回収数(回収率):431票(28.7%)※別途市公式LINEから58票の回答あり 計489票

津島市の風景についてお聞きします。

津島市の良好な風景づくりの取組を知っていますか？ また、どう思いますか？ 各項目であなたのお考えに近い番号を1つ選び、回答用紙に○印を付けてください。

[件数]

| 項目                           | とても魅力的 | やや魅力的 | どちらともいえない | あまり魅力的ではない | 魅力的ではない | 知らない | 無回答 | 計   |
|------------------------------|--------|-------|-----------|------------|---------|------|-----|-----|
| ① 天王川公園のリニューアル(藤棚、ステージ等)     | 130    | 213   | 74        | 25         | 12      | 30   | 5   | 489 |
| ② まちなかの空き店舗への飲食店等の誘致         | 85     | 128   | 121       | 51         | 26      | 69   | 9   | 489 |
| ③ 歴史的な建物の改修・観光利用             | 81     | 166   | 109       | 40         | 19      | 67   | 7   | 489 |
| ④ 古い建物の雰囲気にあった道路面の舗装         | 71     | 143   | 135       | 42         | 19      | 73   | 6   | 489 |
| ⑤ ボランティアによる祭りや茶華道文化のイベント     | 71     | 149   | 119       | 39         | 17      | 82   | 12  | 489 |
| ⑥ 観光地を紹介する案内板の設置             | 69     | 153   | 120       | 47         | 16      | 71   | 13  | 489 |
| ⑦ SNS(フェイスブックやインスタグラム)での情報発信 | 72     | 126   | 113       | 30         | 16      | 121  | 11  | 489 |

複数回答は集計除外とした。

・すべての事業においてとても魅力的・やや魅力的という肯定的意見が40%に達する一方で、知らない・どちらとも言えないという無関心層の意見の合計も同水準にあり、住民に対する取組の実感の強化や周知が課題であると評価できる。

② 協議会におけるコメント

令和7年4月24日に開催した津島市歴史的風致維持向上協議会において、中間評価を議題にあげ、委員から以下のとおりコメントをいただいた。

・中間評価の5年全体に関しては、一定の成果が出ていて喜ばしいことだと思う。後半の5年は次期計画に繋がるように進めていけるとよい。

・歴史的風致形成建造物に指定するメリットは、歴まち事業にのせて国から補助事業を受けながら修理ができる点である。景観法で本町筋などの町並み保存の見通しが立ってきたら、その中の重要な建物は優先して指定していく。また、歴史的風致形成建造物だけでは、片手落ちなので、景観法の景観重要建造物と重複指定し、さらに国の登録有形文化財もやっておくといい。重複指定でそれぞれ補助事業を引き出すこともできるのでぜひ検討してほしい。

・空き家が全国的に進む中で、外から投資していただける人を増やしていくことが大切。その為にも、津島市が投資しやすい範囲(重点地区の範囲)を示してあげると良い。地元住民と自治体だけでは衰退しやすく、外から投資してもらうことが活性化に繋がる。

・全国的に歴史的な町並みを活用する「民活」が増えてきている。最近では、文化庁が「民泊」、「城泊」、「寺泊」などを推奨している。新しい取り組みを行い、価値を上げることが重要である。

・天王川公園のPark-PFIの取り組みは非常に大きいと思う。お陰で、公園は活性化し身近な存在に感じていただけるようになった。今度は、町並みに応用していけると良い。

・令和5年12月に実施した「景観計画策定に係る市民意識アンケート」の結果の中で、天王川公園のリニューアルは「とても魅力的」「やや魅力的」など比較的良好な意見が多かった。住民にとって変化が分かるからだとも推測ができ、一番重要な要素だと感じた。

・「歴史的建造物保存・活用事業」について、旧堀田家住宅と氷室作太夫家住居、津島市観光交流センターがあげられているが、市内には他にも歴史的建造物は存在する。後半の5年で、他の歴史的建造物についても活用事業の検討をしてみてもどうか。

・「津島の歴史・文化魅力発信事業」のまちあるきキャンペーンについては、成果は上がってきていると思う。歴史的風致に力を入れている場所(本町筋等)を歩けるようなコースを、今後の5年間で検討して欲しい。

| 市町村名  | 津島市 | 評価対象年度 | R2～R6年 |
|---|-----|--------|--------|
| <p><b>① 全体の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画策定後も重点区域内の町家建築の滅失は続いており、景観保全には課題が残っている。</li> <li>・ 祭事や風習など歴史的風致を形成する事項について、依然担い手不足が課題となっている。このまま担い手が減っていけば、祭りを運営すること自体困難になってくる。</li> <li>・ 民間所有の町家等について滅失が続いており、市所有の文化財建造物についても旧氷室作太夫家住居など保存・活用に課題の残るものがある。</li> <li>・ 津島市は未指定を含めた文化財が多くある。これらの魅力の発信が課題である。</li> <li>・ 市内で空き家が増えていく中で、今後空き家をどのように利活用していくかが課題である。</li> <li>・ 津島市を訪れる観光客の受け入れ体制（滞在時間の拡大や周遊ルート）</li> </ul>  |     |        |        |
| <p><b>② 今後の対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度に景観行政団体となり、景観計画を令和9年4月公表を目指して策定中である。これにより、景観に関するルールを設け歴史的風致の維持のため具体性を持った方向性や規制を定めていく。景観計画の策定にあたっては、市内のエリアごとにそれぞれの特色があるため、そのあたりの景観要素もしっかりと受け止め、住民と意志疎通を図りながら、津島市らしい景観を作っていく。</li> <li>・ 各祭事・風習の維持のため既存の支援を継続するとともに、学識経験者や関係団体と引き続き協議しながら、今後の方針を検討していく。また、子どもたちに祭りを知ってもらう機会を増やし、早い段階から祭りに親しんでもらうことで、担い手育成に繋げていく。</li> <li>・ 歴史的風致形成建造物の指定を含め、具体的な取組が実施できるよう検討する。</li> <li>・ 文化財保存活用地域計画の策定を進め、地域の文化財の把握と保存・活用のために取り組んでいく。魅力発信については、庁内や関係団体と連携を図りながら、効率的及び効果的な魅力発信を行っていきたい。</li> <li>・ 古くからの町家は歴史的風致を維持するための重要な要素であるため、民間による空き家の利活用や、補助制度のPRを進めていく。</li> <li>・ 観光協会やツアー会社などと連携して、滞在時間を延ばすための新たなコンテンツの造成、周遊ルートの検討を進めていく。</li> </ul> |     |        |        |